크때 수는		4 / 11 - 11 - 11 - 11 - 11 - 11 - 11 - 1	
課程		あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程	_
学年		2年A組	
科目名		人文科学概論	
単位数	8 *L	2単位	
授業方法と時間	] 釵	講義 30時間	
担当教官名		小野澤 昇	+
授業の内容 (授業科目の概		日常の中で耳にすることの多い随想、俳句、短歌、古文、漢文を学びる ミュニケーションの方法を学びます。	
到達目標	_	日常の言語活動(聞く・話す)を通して、コミュニケーション能力の向上でた、文学作品を読み味わい、鑑賞や創作ができること。	を図ること。ま
		リエンテーション 人文科学概論で学習すること	0.5
	2. 随		3
		代の短歌 <u></u>	3
		<b>吹の鑑賞・創作</b>	2
		<b>今と医療面接</b>	
	6. 古		3
	/. 則	朝学習のまとめ・復習	0.5
1-4 414 - 1		前期計	15
授業計画			
	8. 古		1
	9. 漢.		3
		付ける読む コラム	<u>2</u> 3
	11. 独		
		「美南吉の童話」	3
	13. 月		2
	14. 12	後期学習のまとめ・復習	1
		後期計	15
		年度末計	30
中数奴除の右無	無		
実務経験の有無 その活かし方			
成績評価の方法	筆記討	【験(前期・後期)、授業で課した課題・創作への取り組みを総合して評価	<b>西します。</b>
履修上の留意点	年間に	11回以上、俳句・短歌などの創作作品の提出を求めます。	
予習・復習の		授業後に、振り返り学習をしてください。	
進め方	湿歌な	どの創作には、意欲的に取り組んでください。	
使用教科書	授業内	]容に応じ、プリントを作成・配付します。(墨字・テキストデータ・点字)	
参考書/参考資料	必要に		

=m <b>₹</b> n			
課程		あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年		2年A組	
科目名		社会科学概論	
単位数		2単位	
授業方法と時間	]数	講義(演習を含む)/ 30時間	
担当教官名			
授業の内容		1. 社会保障制度の一つである社会福祉制度について学びます(4~6月)。	
(授業科目の概	亜~	2. スクリーンリーダーソフトを組み込んだWindowsパソコンを使用し、エクセ 操作について学びます(7月~令和4年2月 )。	!ル、カルテ名人の
到達目標	1. オリ	1. 社会福祉制度の理念や仕組みを理解し説明できるようになる。 2. Windowsの基本操作を理解し、エクセル、カルテ名人等の応用ソフトの損なる。 Jエンテーション	操作ができるように 0.5
		会福祉制度について	
	(1)	社会福祉①福祉の理念	1.5
		②福祉の法と仕組み	3 3
		③福祉サービス給付の仕組み	3
		④障害者福祉	3
	(2)	<b>社会保障制度に関する学習のまとめ</b>	1
	3. パン	ノコンの基本操作	
		スクリーンリーダーの設定	2
		Windowsの基本操作	2 2
		フセルの操作	<del>                                     </del>
		エクセルの基本操作	2
	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		_
		±÷ #0 = 1	4=
Test adds =		前期計	17
授業計画		フセルの操作(続き)	
	(2)	刃歩的な関数の学習	4
		塩床実習施術担当者表の理解と操作	2
		レテ名人の操作	
		基本操作 ①起動・終了 ②画面構成 ③登録・印刷の手順	1
		再診カルテの入力練習	3
		<b>切診カルテの入力練習</b>	3
		共有パソコンへの保存	
	(5)	<b>検索の練習及びカルテ読み</b>	3
		A. III1	
		後期計	17
		年度末計	34
	ÁTT		1
実務経験の有無	無		
その活かし方			
成績評価の方法		な育実施細則に基づき、各学期末に行う期末試験(筆記試験)の平均	点を学年末評価
		す(小数点第1位は切り捨て)。	
履修上の留意点	成績訊	F価は期末一斉試験期間に実施し、中間試験は実施しません。	
<b>**********</b>	  1. 授郭	業の前にテキストを読んで予習をしておいて下さい。	
予習・復習の	「ひ」っプソコンの学習では、学んだスキルを活用できるよう、実施した理題の復習に取り組み		
進め方	しょう。		
H = 10 2 · +			
使用教科書		F成のテキスト(墨字・点字・データ版)を使用します。	
参考書/参考資料	必要に	<b>-応じて配布します。</b>	
	•		

		743年度 技术計画書(フノバス)	
課程		あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
学年	2年A組		
科目名			
単位数		2単位	
授業方法と時間	時間数 講義 33時間		
担当教官名	名 桑崎哲治		
授業の内容		1. 細胞の化学的成分について学びます。	
(授業科目の概		2. 細胞小器官の構造と機能について学びます。	
到達目標		理療教科における学習に必要な自然科学の基礎的な概念、原理、 て説明又は記述できること。	法則等を理解し
	オリエン	ンテーション	1
		包の化学的成分	
	1. 元		1
	2. 水		1
		有機分子	
		糖質、(2)脂質、(3)アミノ酸	1
		ヌクレオチド DNA・RNA・ATP	3
		包の構造と機能	
	1. 核	•	
	(1)	核膜	1
		)核小体	1
	(3)	染色質、(4)染色体	3
	2. 蛋	台質の合成	
	(1)	転写	1
	(2)	翻訳	2
	前期の	まとめ	1
	前期末	試験講評	1
授業計画		前期計	17
	<b>4 新</b> 股		
		トコンドリア	2
		パンーム	1
		N胞体	2
		「ルジ装置	2
		リソソーム	2
	6. 中	中心体	1
	7. 微	数小管	1
	後期の	まとめ	1
		試験講評	1
		田胞骨格	2
	5 細脂		
	体制	田胞分裂	3
		AA 11==1	
		後期計	18
		———————————————————— 年度末計	35
実務経験の有無 その活かし方	無	. 12.4 - 2.500	
( -7/11/0 0/3			_ <b> </b>
┃ ┃ 成績評価の方法		教育実施細則の基づき、前期末、後期末評価(何れも筆記試験)の平均	a点を学年末評
		ます。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	中間其	月評価は実施しません。	
		は事前に配布する資料を用いて進めます。必ず資料を読んで、講義内容を把	握して講義に臨ん
予習・復習の	でくださ		
進め方		後は配付資料を精通して復習し、内容理解に努めてください。	
	目己学	習しても理解できないところがあれば、次の講義までに質問してください。	
使用教科書		せんが、教科書となる資料を配付します。	
参考書/参考資料	必要に	に応じて図などを配布します。	

学年 2年A組			サ州3千及 技术計画者(ングバス)	
#自名 保護体育 1単位 (現業方法と時間数 実技 30時間 海本 茂記 (現業方法と時間数 実技 30時間 海本 茂記 (現業内内容 (授業科目の概要) して自身の身体状況を客観的に捉えることについて学びます。また体力測定を通 して自身の身体状況を客観的に捉えることについて学びます。 1. 運動・スポーツを生涯にわたって継続していく重要性を理解して、実践することができる。 2. 運動・スポーツ実践の基となる自身の体力の現状を客観的に把握できる。 2. 運動・スポーツ実践の基となる自身の体力の現状を客観的に把握できる。 1. オリエンデーション 2. 体力測定(筋力、素性、競技(税額) 2. 株上競技(税額) 2. (本) 上野で(防力、素性、競技(税額) 2. (本) 上野で(防力、素性、競技(税額) 3. 身体局所の動き(みんなの体操) 2. (4. 海上受け(アイスリートフ、ディスタンス) 2. (カライングディスク(デイスリートフ、ディスタンス) 2. (カライングディスク(デイスリートフ、ディスタンス) 3. カービング(セルフ) 1. オービング(セルフ) 1. オービング(セルフ) 1. オービング(セルフ) 1. オービング(セルフ) 1. オービング(セルフ) 1. オービング(セルフ) 1. オービング(電路・実施) 1. オービーング(電路・実技) 1. オービーング(中国 1. オービーング				
単位数				
接象方法上時間数   実技 30時間				
担当教育名 環動・スポーツにかかわる基本的な知識と技術について学びます。また体力測定を通 (授業科目の概要) 1. 運動・スポーツを生涯にわたって継続していく重要性を理解して、実践することができる。 2. 運動・スポーツ実践の基となる自身の体力の現状を客観的に把握できる。 2. 運動・スポーツ実践の基となる自身の体力の現状を客観的に把握できる。 1. オリエンテーション 2. 体力測定(筋力・柔軟性・放達性・筋持久力) 1. オリエンテーション 2. 体力測定(筋力・柔軟性・放達性・筋持久力) 2. 体力測定(筋力・柔軟性・放達性・筋持久力) 3. 身体局所の動き(らんなの体験) 2. 2. 4. 陸上競技(投票) 2. 2. 5. ゴールボール 3. 8. テーピングディスク(ディスリートフ、ディスタンス) 7. グランドンフトボール 3. 5. テーピングではルフ) 1. 1. フロア・パー・ボール 3. アーピングではルフ) 1. 1. フロア・パー・ボール 3. ストレッチ(動的) 1. 1. フロア・パー・ボール 3. ストレッチ(動的) 1. 1. フロア・パー・ボール 1. 1. トレー・ア・グロ・カー 1. 1. 「ケーボール 1. 1. トレー・ア・グロ・カー 1. 1. 「ケーボール 1. 1. トレー・ア・グロ・カー 2. 大変性・対象を学生・ア・グロ・カー 2. 大変性・対象を学生・ア・グロ・カー 2. 大変性・対象を学生・ア・グロ・カー 2. 大変性・対象を学生・ア・グロ・カー 2. 大変性・対象を変化を表しません。 2. 表別の音を学習となん。 2. 表別の容については、体質的不多の活用や自己・学習を含めて振り返り学習してください。 2. 表別の容については、体質的不多の活用や自己・学習を含めて振り返り学習してください。 2. 表別の容については、体質的不多の活用や自己・学習を含めて振り返り学習してください。 2. 表別の容については、体質的不多の活用や自己・学習を含めて振り返り学習してください。 2. 表別の表別を配着したいとい。 2. 表別の容については、体質的不多の活用や自己・学習を含めて振り返り学習してください。 2. 表別の学習は欠かさないとうにしてください。 2. 表別の学習は欠かさないようにしてください。 4. ないののなにのして質料等を配布します) 4. 2. (必要に応じて資料等を配布します) 4. 2. (必要に応じて資料等を配布します) 4. 2. (必要に応じて資料等を配布します) 4. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2.		= skt		
接業の内容 (授業科目の概要)   運動・スポーツにかかわる基本的な知識と技術について学びます。また体力測定を通 して自身の身体状況を客観的に捉えることについて学びます。   運動・スポーツを生涯にわたって継続していく重要性を理解して、実践することができる。   2. 運動・スポーツ実践の基となる自身の体力の視状を容観的に把握できる。   3. 東外局所の動き(みんなの体操)   2		]数	P 344	
大学   1. 運動・スポーツを生涯にわたって継続していく軍叉性を理解して、実践することができる。   2. 運動・スポーツを生涯にわたって継続していく軍叉性を理解して、実践することができる。   2. 運動・スポーツ実践の基となる自身の体力の現状を客観的に把握できる。   1. ガーエンテーション   1. スポーツ実践の基となる自身の体力の現状を客観的に把握できる。   1. カーエンテーション   2. 体力測定(筋力・乗敵性、筋持久力)   1. スリールボール   3. 3. 4 体局所の動き(みんなの体操)   2. 名				
お別途目標   さる。				た体力測定を通
1. オリエンテーション   1   2   休力測定(務力、柔軟性、敏捷性、筋持久力)   1   3   身体局所の動きでみんなの体操)   2   5   ポールボール   3   6   フライングディスク(ディスリート7、ディスタンス)   2   7   グラルドンフトボール   3   8   テーピング(セルフ)   1   1   1   1   1   1   1   1   1	到達目標		きる。	
2、体力測定(勝力、柔軟性、敏強性、筋特久力) 3、身体局所の動き(みんなの体操) 5・ゴールボール 6・フライングティスリート7、ディスタンス) 7・グランドソフトボール 8・テーピング(セルフ) 1 8・テーピング(セルフ) 1 1 2 対内内容 9・みんなの体操(壁位) 10・ブラインドテニス 11・フロアバレーボール 12・ボッチャ(ペア) 13・ストレッチ(動的) 14・ブラインドウッカー 15・ゲーボール 15・ゲーボール 15・ゲーボール 16・トレーニング(理論、実技) 17・体力測定(特久力) 18・ニュースボーツ 18・ニュースボーツ 18・ニュースボーツ 19・次後等科目に関連する知識の幅を広げます。 理療教育実施制制に基づき、前棋末、後期末、経期末に大レーニングやストレッチを紹介し、2年次機等科目に関連する知識の幅を広げます。 理療権との留意点 理療者実施制制に基づき、前棋末、後期末、経明末に大レーニングやストレッチを紹介し、2年次機等科目に関連する知識の幅を広げます。 「大力測定(特え力) 1・プラインドラーンに、(水教点第1位は切り捨て) 「大力測定(特え力) 1・プラインドラーン・フトレーニングやストレッチを紹介し、2年次機等科目に関連する知識の幅を広げます。 「大力測定(特え力) 1・アレビ体操やみんなの体操の放送時刻を対象である対象が関係を広げます。 「大力測定(特え力) 1・アレビ体操やみんなの体操の放送時刻を押し、2・次後等科目に関連する知識の幅を広げます。 「大力能力を対象を関する知識の幅を広げます。」 「大力能力を対象を関する知識の作为の表別を対象を関する場合があります。 「大力に体操やみんなの体操の放送時刻を把握し、「みんなの体操(立位・座位)」の動きを学習してください。 「大きい、」 「カルなの体操(立位・座位)」の動きを学習してください。 「大きい、」 「カルなの体操り、)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
3. 身体局所の動き(みんなの体操)			·	1
4. 陸上競技(投擲)				1
5. ゴールボール				
6. フライングディスク(ディスリート7、ディスタンス)   2   7. グランドソフトボール   3   8. テーピング(セルフ)   1   1   1   1   1   1   1   1   1				
7. グランドソフトボール   3   8. テーピング(セルフ)				
接集計画				
一				3
授業計画		8. 7-	-ピング(セルノ)	l
授業計画				
授業計画			前期計	15
9. みんなの体操(座位)   1	授業計画	終期内		10
10. ブラインドテニス   2	JANI II			1
11. フロアパレーボール   2				
12. ボッチャ(ペア)   13. ストレッチ(動的)   1				3
13. ストレッチ(動的)		12. ボ	ッチャ(ペア)	2
15. ゲートボール		13. ス	トレッチ(動的)	
16.トレーニング(理論、実技)   2   17. 体力測定(持久力)   1   18. ニュースポーツ   1   18. ニュースポーツ   1   15   年度末計   30   15   年度末計   30   15   15   15   15   15   15   15   1				1
17. 体力測定(持久力) 18. ニュースポーツ  後期計  年度末計  30  実務経験の有無 その活かし方  「大のでは、大のでは、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力		-	• •	1
18. ニュースポーツ 1  後期計 15  年度末計 30  実務経験の有無 その活かし方				2
後期計 15 年度末計 30 実務経験の有無 その活かし方				1
年度末計 30    実務経験の有無		18. —	ユースホーク	ı
年度末計 30    実務経験の有無				
年度末計 30    実務経験の有無				
年度末計 30    実務経験の有無				
実務経験の有無 その活かし方			後期計	15
実務経験の有無 その活かし方			<b>在度</b> 末計	30
実務経験の有無 その活かし方 「リハビリテーション病院での運動・スポーツ指導経験を活かして、トレーニングやストレッチを紹介し、2 年次履修科目に関連する知識の幅を広げます。 「理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも実技試験及び口頭試験)の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て) 「内間試験は実施しません。天候により使用する体育施設を変更する場合があります。 「カードをでする場合があります。」 「カードでは操やみんなの体操の放送時刻を把握し、「みんなの体操(立位・座位)」の動きを学習してください。 「おさい。」では、体育的行事の活用や自己学習を含めて振り返り学習してください。 「生まれた。」では、体育的行事の活用や自己学習を含めて振り返り学習してください。 「も、要の学習は欠かさないようにしてください。」では、体育的行事の活用や自己学習を含めて振り返り学習してください。	-	-		30
マの活かし方 リハビリテーション病院での運動・スポーツ指導経験を活かして、トレーニングやストレッチを紹介し、2年次履修科目に関連する知識の幅を広げます。  理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも実技試験及び口頭試験)の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)  「大りで体操やみんなの体操の放送時刻を把握し、「みんなの体操(立位・座位)」の動きを学習してください。  1. テレビ体操やみんなの体操の放送時刻を把握し、「みんなの体操(立位・座位)」の動きを学習してください。  2. 既習の内容については、体育的行事の活用や自己学習を含めて振り返り学習してください。  使用教科書 なし。(必要に応じて資料等を配布します)	実務経験の有無		7 7 7 7 11 11 11 11 11 11	
成績評価の方法 理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも実技試験及び口頭試験)の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て) 中間試験は実施しません。天候により使用する体育施設を変更する場合があります。  予習・復習の 進め方	その活かし方			・レッチを紹介し、2
たります。				
で子年末評価とします。(小数点第1位は切り指で)   で子年末評価とします。(小数点第1位は切り指で)   では切り指で、	成績評価の方法			試験)の半均点
1. テレビ体操やみんなの体操の放送時刻を把握し、「みんなの体操(立位・座位)」の動きを学習してください。 進め方 進め方 2. 既習の内容については、体育的行事の活用や自己学習を含めて振り返り学習してください。 3. 事前・事後の学習は欠かさないようにしてください。 使用教科書 なし。(必要に応じて資料等を配布します)				<b>ないま</b> せ
予習・復習の ださい。     進め方	復修工の笛息点			
進め方 2. 既習の内容については、体育的行事の活用や自己学習を含めて振り返り学習してください。 3. 事前・事後の学習は欠かさないようにしてください。 使用教科書 なし。(必要に応じて資料等を配布します)	<b></b>			の動きを学習してく
3. 事前・事後の学習は欠かさないようにしてください。 使用教科書 なし。(必要に応じて資料等を配布します)				ナノナニナル
使用教科書なし。(必要に応じて資料等を配布します)	進の万			
参考書/参考資料 競技規則集。競技規則の解説。障がい者スポーツ指導の手引き	使用教科書	なし。(	必要に応じて資料等を配布します)	
	参考書/参考資料	競技規	別集。競技規則の解説。障がい者スポーツ指導の手引き	

課程		あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程				
<del></del> 学年		2年A組				
<u>- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·</u>						
単位数	数 3単位					
	受業方法と時間数 講義 90時間					
担当教官名	池田正道					
<b>概要</b> の由家						
(授業科目の概要	要)	人体の各臓器・組織の生理作用について学びます。				
到達目標		あはき施術に必要な人体の機能の知識の習得を目指す。また、他の科目との関連についても理解し、知識を応用できるようにする。				
授業計画	1. 捕	<b>非</b> 泄	6			
	2. 🗗	7分泌	9			
	3. 4	E殖∙成長と老化	8			
	前期講評	中間試験	1 1			
	4. 神		19			
	前期講評	期末試験	1			
	前期	<u>計</u>	45			
	4. 神	神経(続き)	7			
	5. 舡	<u>ኝ</u>	9			
	後期講評	中間試験	1			
	6. 道	<b>運動</b>	7			
	7. 愿	<b>感覚</b>	4			
	後期 講評	期末試験	1			
	7. 愿	<b>热党</b>	8			
	8. 4	E体の防御	4			
	9. 身	<b>身体活動の協調</b>	3			
	後期	計	45			
			90			
実務経験の有無その活かし方	整形う、技	年度末計 90 有 あん摩マッサージ指圧師 整形外科病院でのマッサージ経験をいかして、臨床と生理学の知識が結びつけられるよう、授業の中でできるだけ多くの疾患にふれ、その疾患の症状の発現のメカニズムを生理 学的に説明します。				
成績評価の方法	理療	を表現します。 教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価の平均点を学年末評価の 1位は切り捨て)	とします。(小数			
履修上の留意点	6、1	1月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。				
予習·復習の進 め方	予習	は必要ありません。復習をしっかり行って下さい。その際は、ただ用語なく、生理学的機序をしっかり理解するようにして下さい。	等を暗記するだ			
使用教科書	人体	の構造と機能 生理学第3版 医歯薬出版				
参考書/参考資料	なし					
	-					

課程		あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程		
学年		2年A組		
 科目名		1   1   1   1   1   1   1   1   1   1		
単位数		2単位		
授業方法と時間数		講義 60時間		
担当教官名		岩本 稔		
授業の内容		疾病や症状の分類、原因、発生機序等を学びます。		
(授業科目の概	要)		1	
到達目標		国家試験合格及び施術者として必要な疾病に関する知識を身に着い	ます。	
		ダンス(授業の進め方、評価方法等)	1	
		里学の意義、基礎	10	
	3. 病区		10	
	(1) P	ョロ ト因(栄養異常、物理的・化学的・生物的病因作用等)		
		「固く不良失命、物をは、心子は、工物はが過して心事を 「間試験	1	
	講評	I La Maadha	1	
	4. 病3		14	
		循環障害(充血、うっ血等)		
		退行性病変(変性・萎縮・壊死等)		
	削 <i>期</i> 共  講評	<b>非末試験</b>	1	
	神武	<del>44.</del> #a = 1	'	
授業計画 授業計画		前期計	30	
及本門自		を(続き)	_	
		≝行生病変(肥大・再生・移植等) 炎症(炎症の概念、原因、炎症の経過と転帰等)	5 6 1	
		7世(火圧の構造、水色、火圧の柱色と松がサ/7時試験	ĺ	
	講評		1	
		腫瘍(腫瘍の意義・形態・構造等)	8	
		免疫異常(免疫の仕組み、免疫応答異常、免疫不全等)	8 6 2	
	5. 総征		2	
	夜朔 <sup>吳</sup>  講評	<b>非末試験</b>	1	
	PHP RT		'	
		後期計	30	
		年度末計	60	
実務経験の有無	有	按摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師		
その活かし方	病院、	<b>接骨院での実務経験を活かし、実際の臨床でも応用できる疾患のポイントを</b>	紹介します。	
成績評価の方法		な育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも筆記試験)の平均 す。(小数点第1位は切り捨て)	点を学年末評価	
履修上の留意点	6月、1	1月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。		
予習·復習の 進め方		や配布資料を精読し内容の理解に努めてください。また履修済み科目の解語 ついても振り返り知識の整理に努め、まとめのノートを作成するように心がけ		
使用教科書	疾病の	)成り立ちと予防Ⅱ(病理学概論)		
参考書/参考資料	必要に	応じて配布します。		
	•			

課程		あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程		
学年		2年A組		
科目名		<b>臨床医学総論</b>		
単位数		3単位 講義 90時間		
授業方法と時間 担当教官名				
型目		│	文) 臨床檢查	
(授業科目の概		法、治療法の概要について学びます。		
到達目標	I =	各種診察法や臨床検査法の意義、治療法の概要を説明できるとともに 体所見から疑われる疾病(疾患名)について診断推論できること。	- 、付りれバスタ	
(2) (3) (4) (5) (6) (7)		察法 診察の概要 問診(医療面接) 規診 打診 聴診 触診 則定法 生命徴候(バイタルサイン)	2 2 4 10 4 10 4 5	
		前期計	45	
授業計画	(10) 2. 臨J (1) (2)	神経系の診察 運動機能検査 末検査法 一般検査 生化学的検査 生理学的検査および画像診断の概要	6 6 10 4 4	
	(1); (2); (3); (4); (5); 4. 臨,	治療の意義と分類 薬物療法 食事療法 理学療法 その他の療法 末心理 患者の心理 カウンセリングの概要	2 2 2 2 2 3 2	
		後期計	45	
		年度末計	90	
実務経験の有無	有	按摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師		
その活かし方	病院、	接骨院での実務経験を活かし、実際の臨床でも応用できる診察のポイントを紹	介します。	
成績評価の方法		対育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも筆記試験)の平均点 す。(小数点第1位は切り捨て)	を学年末評価	
履修上の留意点	6月、1	1月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。		
予習·復習の 進め方		や配布資料を精読し内容の理解に努めてください。また履修済み科目の解剖 ついても振り返り知識の整理に努め、まとめのノートを作成するように心がけて		
使用教科書	生活と	疾病Ⅱ 臨床医学総論第2版.日本理療科教員連盟教科書委員会編.東	京点字出版所	
参考書/参考資料	必要に	<b>上応じて配布します。</b>		

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程		
学年	のん摩マッケーン指圧、はり、さゆっ件、専門課性 2年A組		
科目名	理療臨床医学各論		
単位数	3単位		
授業方法と時間数	講義 90時間		
担当教官名	石川 健		
授業の内容 (授業科目の概要	各疾患の概念、病態生理、原因、症状、検査、治療、予後について学習する )	<b>3</b> .	
到達目標	各疾患の主な特徴を理解し、概念や原因、症状、検査、治療法等について る。	簡潔に説明出来	
授業計画	る。 1. オリエンテーション 2. 整形外科疾患 (保存療法と手術療法、関節疾患、骨代謝疾患・骨腫瘍、筋・腱疾患、形態異常、脊椎疾患、脊髄損傷、外傷、その他の整形外科疾患) ※前期中間試験 前期計 3. 神経疾患 (脳血管疾患、感染性疾患および脱髄性疾患、脳・脊髄疾患、基底核変性疾患、その他の変性疾患、認知症、筋疾患、運動ニューロン疾患、末梢神経疾患、神経痛、頭痛) 4. 一般外科 (外傷総論、ショック、熱傷) 5. 麻酔科とペインクリニック (麻酔科、ペインクリニック) 6. 精神科疾患 (精神科疾患の現代の分類、心身症、神経症、気分(感情)障害と統合失調症、摂食障害、心的外傷後ストレス障害(PTSD)、アルコール依存症		
	※後期中間試験	1	
	後期計	45	
	年度末計	90	
	有  はり・灸・あん摩マッサージ指圧師		
実務経験の有無 その活かし方	特   189	検談を交えなが	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期・後期期末試験(何れも筆記試験)の平均点を学す。 (小数点第1位は切り捨て)	生年末評価としま	
履修上の留意点	1. 各疾患の概念、病態生理、原因、症状、検査、治療、予後については、国家試の高い疾患や主に理療臨床で遭遇することの多い疾患等に重点を置きながら解 2. 適宜、解剖学や生理学、臨床医学総論等の関連科目に留意しながら指導をお 3. 6月と11月に形成的評価のため中間試験を行います。	説します。	
予習·復習の 進め方	剖学や生理学といった人体の構造と機能に関する知識については、教科書等を用いて逐次 習し、授業で学習した知識のベースアップに努めてください。		
使用教科書	生活と疾病Ⅲ(臨床医学各論)上巻・下巻		
参考書/参考資料	必要に応じて資料を配布します。		
<u> </u>	ı		

EM dn	17110千度 技术の自己 ノバック		
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程		
学年	2年A組		
科目名	東洋医学概論Ⅱ		
単位数	3単位		
授業方法と時間数	講義 90時間		
担当教官名	絹見 昭洋		
授業の内容 (授業科目の概要)	はり師・きゅう師として必要な東洋医学の概念、病証論、診断法、東洋 ついて学びます。	医学的治療に	
到達目標	東洋医学の基礎理論、病証論、診断法について理解し、東洋医学的 明又は記述でき、更に治療に応用出来ることを目指します。	台療について説	
(前期)			
The state of the s	エンテーション	1	
	<b>ド医学の基礎理論</b>	16	
	注医学の意義と特徴		
	会陽五行		
	<b>美医学の生理観</b>	16	
	5臓六腑		
	元····································		
	では、 と経穴の概要	2	
	ド医学の疾病顴・病因論	10	
	F区子の矢が観   内区論 	10	
	オロ(二ロ・二母記) 【綱病証		
	、		
(3/)	(C)		
	前期計	45時間	
授業計画 (後期)		1011111	
( DC/V)	** 	12	
	・ とうない はい かんしゅ かんしゅ はい おおい はい	12	
	圣絡病証		
	<b>大経病証</b>		
6. 診路		20	
(1)			
(2)氰	E決定		
7. 治療	<b>3</b>	13	
	(1)手技療法		
(2)	(2)はりきゅう療法(補瀉・選穴・刺法)		
<u> </u>			
<b>I</b>	後期計	4 c a± 88	
I —		45時間	
	年度末計	90時間	
中型级系。 有	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師		
■ 実務経験の有無 ———			
その活かし方 臨床で	経験した所見・病態などを東洋医学的観点から説明を実施します。		
理療差	女育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも筆記試験)の平均	点を学年末評	
	ます。(小数点第1位は切り捨て)		
	11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。		
東洋医	学概論は3年次で学習する東洋医学臨床論や臨床実習の治療に必要な基礎		
	す。難解な言葉や漢字については事前に読みを調べることにより学習がスムー		
メルナ 9。技	す。授業が終わったら必ずその内容を復習してください。東洋医学は自然界と人体の関りを学習する		
~ / / /	す。普段から体調と気象気候の関りを観察することが大切です。疑問はそのま	はまにせず質問す	
フ レミル	-l <i>ナノ</i> ナ*キıヽ		
	こしてください。 B春学 I (東洋医学概論)改訂第7版		
使用教科書 基礎理	こしてください。 胆療学 I (東洋医学概論)改訂第7版 こ応じて資料を配布します。		

課程		あん摩マッサージ指圧師、はり、きゅう科 専門課程		
学年		2年A組		
科目名		経絡経穴概論Ⅱ		
単位数		2単位		
授業方法と時間数		講義/実技 60時間		
担当教官名		田端 里美		
授業の内容 (授業科目の概要)		人体における経穴の全容、経絡各論(十二経脈、奇経八脈)、経穴各論(線 せ穴)、経絡及び経穴の現代医学的研究などについて学びます。	圣穴、奇穴、組合	
到達目標		1. 同身寸法、骨度法の概念を理解し、それを用いて人体に取穴することができる。 2. 十四経脈の走行・流注の概要を理解し、説明することができる。 3. 十四経脈所属の経穴を理解し、取穴することができる。 4. 要穴を理解し、取穴することができる。 5. 経絡・経穴の現代的研究の概要を説明できる。		
	前期内容			
	1. オリコ  2. 奇経。	Eンテーション ハ脈	1	
		ハ	10	
	3. 奇穴		7	
		頸部 (2)胸腹部 (3)背腰部 (4)上肢部 (5)下肢部	,	
		をわれる経穴の組み合わせ つ灸 (2)小児斜差の灸 (3)中風七穴 (4)脚気八処の穴	3	
	5. 経絡	·経穴の現代的研究		
	6. 要穴		2 4	
	(1)原:	穴·郄穴·兪穴(背部兪穴) 総穴	4	
		脈交会穴		
	(4)八:			
	(5)下·  復習	台穴		
		経脈の走行・流注の概要、所属の経穴取穴法	_	
	(1)督	脈	5	
	(2)任	脈		
授業計画 授業計画		前期計	32	
	(3)手 (4)手 (5)足 (6)足 (7)手	容 経脈の走行・流注の概要、所属の経穴取穴法(続き) の太陰肺経 の陽明大腸経 の陽明胃経 の太陰脾経 の少陰心経 の太陽小腸経	25	
	(9)足	の太陽膀胱経		
		足の少陰腎経 手の厥陰心包経		
		Fの		
	(13)	足の少陽胆経		
		<b>足の厥陰肝経</b> 横並びの経穴		
		では、	4	
			30	
		年度末計	62	
	無			
その活かし方	ж			
成績評価の方法	理療教	育実施細則に基づき、前期末と後期末に筆記試験を行い、その平均点で	 評価します。	
履修上の留意点		、11月に形成的評価のため筆記試験を行います。 !や身体を使って取穴し、見えなくともわかりやすい授業になるよう工夫しま	 ます。	
予習·復習の 進め方		は、漢字の読み方や経穴部位の確認などを重点に行ってください。 な、習ったところをノートにまとめ、経穴部位の確認を行ってください。		
使用教科書	新版経絡経穴概論 日本理療科教員連盟·東洋療法学校協会編			
参考書/参考資料	必要に	応じて配布します。		
	-			

	池田正道  1年次に習得した基礎的な技術をさらに習熟させるとともに、疾患別に察・治療法など、施術者として必要な応用的な施術に関する内容についまた、臨床実習前(前期中間・期末、後期中間・期末の各試験)に施術行うことにより、臨床で活用できる知識や技術が身についているかどうす。  60分を目安とした全身あん摩ができるようになる。疾患別に応じた問語内容について理解し、実施できるようになる。 前期内容 1. 1年次の復習 2. 部位別の施術  (1)環境整備(設備・器具の準備及び片付け)	応じた問診・診 いて学びます。 実技試験等を かを評価しま 診・診察・治療の
科目名 単位数 授業方法と時間数 担当教官名 授業の内容 (授業科目の概要 到達目標 授業計画	あん摩マッサージ指圧応用実習 I (臨床実習前試験等を含 4単位 実技 124時間 池田正道 1年次に習得した基礎的な技術をさらに習熟させるとともに、疾患別に察・治療法など、施術者として必要な応用的な施術に関する内容についまた、臨床実習前(前期中間・期末、後期中間・期末の各試験)に施術行うことにより、臨床で活用できる知識や技術が身についているかどうす。 60分を目安とした全身あん摩ができるようになる。疾患別に応じた問語内容について理解し、実施できるようになる。	応じた問診・診 いて学びます。 実技試験等を かを評価しま 診・診察・治療の
単位数 授業方法と時間数 担当教官名 授業の内容 (授業科目の概要 到達目標 授業計画	4単位 実技 124時間 池田正道 1年次に習得した基礎的な技術をさらに習熟させるとともに、疾患別に察・治療法など、施術者として必要な応用的な施術に関する内容についまた、臨床実習前(前期中間・期末、後期中間・期末の各試験)に施術行うことにより、臨床で活用できる知識や技術が身についているかどうす。 60分を目安とした全身あん摩ができるようになる。疾患別に応じた問語内容について理解し、実施できるようになる。 前期内容 1. 1年次の復習 2. 部位別の施術 (1)環境整備(設備・器具の準備及び片付け)	応じた問診・診 いて学びます。 実技試験等を かを評価しま 诊・診察・治療の
授業方法と時間数担当教官名 授業の内容 (授業科目の概要 到達目標 授業計画	実技 124時間 池田正道 1年次に習得した基礎的な技術をさらに習熟させるとともに、疾患別に察・治療法など、施術者として必要な応用的な施術に関する内容についまた、臨床実習前(前期中間・期末、後期中間・期末の各試験)に施術行うことにより、臨床で活用できる知識や技術が身についているかどうす。 60分を目安とした全身あん摩ができるようになる。疾患別に応じた問語内容について理解し、実施できるようになる。 前期内容 1. 1年次の復習 2. 部位別の施術 (1)環境整備(設備・器具の準備及び片付け)	いて学びます。 実技試験等を かを評価しま ・・診察・治療の
担当教官名 授業の内容 (授業科目の概要 到達目標 授業計画	池田正道  1年次に習得した基礎的な技術をさらに習熟させるとともに、疾患別に察・治療法など、施術者として必要な応用的な施術に関する内容についまた、臨床実習前(前期中間・期末、後期中間・期末の各試験)に施術行うことにより、臨床で活用できる知識や技術が身についているかどうす。  60分を目安とした全身あん摩ができるようになる。疾患別に応じた問語内容について理解し、実施できるようになる。 前期内容 1. 1年次の復習 2. 部位別の施術  (1)環境整備(設備・器具の準備及び片付け)	いて学びます。 実技試験等を かを評価しま 診・診察・治療の
授業の内容 (授業科目の概要 到達目標 授業計画	1年次に習得した基礎的な技術をさらに習熟させるとともに、疾患別に察・治療法など、施術者として必要な応用的な施術に関する内容についまた、臨床実習前(前期中間・期末、後期中間・期末の各試験)に施術行うことにより、臨床で活用できる知識や技術が身についているかどうす。  60分を目安とした全身あん摩ができるようになる。疾患別に応じた問語内容について理解し、実施できるようになる。 前期内容 1. 1年次の復習 2. 部位別の施術 (1)環境整備(設備・器具の準備及び片付け)	いて学びます。 実技試験等を かを評価しま 診・診察・治療の
授業計画	内容について理解し、実施できるようになる。 <ul> <li>前期内容</li> <li>1. 1年次の復習</li> <li>2. 部位別の施術         <ul> <li>(1) 肩背部</li> <li>(1) 環境整備(設備・器具の準備及び片付け)</li> </ul> </li> </ul>	
	1. 1年次の復習 2. 部位別の施術 (1) <b>肩背部</b> (1)環境整備(設備・器具の準備及び片付け)	
	2. <b>部位別の施術</b>	4
	(2)上肢 (3)頭頸部 (4)腰殿部 (5)下肢 (5)下肢 (7)施術の実験 (1)側臥位 (2)伏臥位 (2)伏臥位 (3)仰臥位 (2)伏臥位 (3)仰臥位 (3)仰臥位 (3)仰臥位 (3)即中間・期末試験(講評、臨床実習前実技試験等を含む)	52
l	前期計	62
Ľ	乳期計 4.疾患別の施術	42
3	運動器系 (1)肩こり、頸肩腕症候群 (2)腰下肢痛 (3)五十肩 (4)変形性関節症(膝関節症、股関節症) (5)腱鞘炎 (6)捻挫の後遺症 ※授業の進行状況により、前期で上記の疾患を扱う場合があります。 スポーツ障害に対する総合施術 (1)アキレス腱断裂 (2)ジャンパー膝 (3)テニス肘	8
l le	5. 各種物療器具の取り扱い 6. 模擬臨床実習 〇後期中間・期末試験(講評、臨床実習前実技試験等を含む)	2 2 6
 	多期計	62
L	年度末計	124
(0)/[///////////////////////////////////	<sub>有</sub> │あん摩マッサージ指圧師 隆形外科病院でのマッサージ経験をいかして、医療現場で行われている治 紹介することにより、疾患やその治療方法について理解が進み、自分自身の きるようにします。	
は体証圧の士は	理療教育実施細則に基づき、前期末、後期末評価(何れも実技試験)の平り 面とします。(小数点第1位は切り捨て)	均点を学年末評
握修上の留意点 <b>7</b>	各学期の中間期、期末試験を臨床実習前施術実技試験として合わせて8時また、臨床実習前実技試験等にある(1)(3)(8)(11)の評価項目についてしまでなく、普段の授業の様子も参考に評価を行います。	
予習·復習の進 め方	できるだけ早いうちに60分位で施術できる自分自身の術式を完成させて1 の型ができると臨床に出て緊張してもなんとか施術できるものです。授業以 の流れをイメージしておくことは大切です。同様に問診や診察においても授 飲科書等を見て自分自身の方法・手順を確立するようにして下さい。	外の場でも施術
使用教科書	理療基礎実習【盲学校理療教科用図書編纂委員会編/日本ライトハウス あん摩マッサージ指圧理論、東洋医学臨床論	.]

	市和3年度 授耒計画書(ンプハス)		
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程		
学 年	2年A組		
科目名	あん摩マッサージ指圧応用実習 II (臨床実習前試験等を含む)		
単位数	2単位		
授業方法と時間数	実技 64時間	実技 64時間	
担当教官名 安田 晴幸			
授業の内容 (授業科目の概要)			
到達目標	1. 主要な症状・疾患に対して基本的身体診察が行える。 2. 主要な症状・疾患に対して適切かつ効果的にあん摩マッサージ指圧施術を行える。 3. 臨床実習に参加できる知識と技術や態度を身につけている。		
	期 1. オリエンテーション 2. 施術者としての態度及び診察等について 3. 1年次の知識と技能の確認 4. 疾患別施術について (1) 呼吸器系 ① 咳嗽 ② 気管支喘息 (2) 循環器系 ① 高血圧症 前期中間・期末試験(講評、臨床実習前試験を含む)	2 2 8 8 6	
	前期計	32	
授業計画	期 4. 疾患別施術について(続き) (3) 消化器系 ① 胃炎 ② 便秘・下痢 (4) 婦人科系 ① 月経異常 ② 更年期障害 (5) その他 ① 頭痛 ② 神経痛(三叉神経痛、特発性肋間神経痛) 5. 臨床実習に向けた全身施術 6. 模擬臨床実習 後期中間・期末試験(講評、臨床実習前試験を含む)	6 6 4 4 6	
	後期計年度末計	32 64	
実務経験の有無と無		04	

成績評価の方法	平常授業時は観察記録法により平常評価します。各学期末には実技試験を行い、平常評価と合わせて総括的評価とします。なお、理療教育実施細則に基づき、前期・後期末評価の平均点を本科目の学年末評価とします。臨床実習前施術実技試験については、平常評価と各学期の中間期及び期末期の実技試験の平均点で評価し、臨床実習参加の可否を判定します。
履修上の留意点	自身の健康管理に留意するとともに、身体や白衣を清潔に保ちましょう。 施術中はクラスメートを患者と想定した態度・言動で臨みましょう。 実技試験では担当教官に加えて他の教官も参加することがあります。 なお、各学期の中間期、期末試験を臨床実習前施術実技試験を合わせて計8時間実 施します。また、期末試験については放課後に実施します。
予習・復習の 進め方	予習は、教科書をよく読んでおいてください。復習は、事故や防災等に留意し、原則として実習室で行ってください。なお、授業時間以外の事故については自己責任になります。※「理療教育における施設や設備の利用等マニュアル(利用者向け)」第8章 授業時間以外に実技練習を行うときの注意事項参照
使用教科書	東京都立文京盲学校理療科研究会著 理療基礎実習
参考書/参考資料	資料は必要に応じて配布します。

課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程		
学年	2年A組		
科目名	はりきゅう応用実習 I (臨床実習前試験等を含む)		
単位数	4単位		
授業方法と時間	実技 124時間		
担当教官名			
授業の内容 (授業科目の概	大百多川のための作品でいているが。	刃かつ効果的に 等に関する臨床	
到達目標	1. 施術者としての基本的態度、礼節を身につけること。 2. 主要な症状・疾患に対して基本的身体診察が行えること。 3. 主要な症状・疾患に対して安全かつ適切、効果的な鍼灸施術が行えること 4. 臨床実習に参加できる知識と技術を身につけること。 5. 鍼灸に関わる過誤・副作用について対処できる。	ۥ	
	1. 基礎技術の確認	6	
	2. 臨床入門  3. 各種鍼療法の指導	15 5	
	(1)小児鍼法		
	(2)皮内鍼法(円皮鍼)	00	
	4. 症候別施術応用(日常遭遇しやすい症候への施術)   運動器系	30	
	(1)肩こり、頸肩腕症候群		
	(2)腰痛(坐骨神経痛含む)		
	(3) 五十肩		
	(4)変形性関節症(膝関節症、股関節症)	6	
	※ 前期中間期・期末試験(講評、臨床実習前試験を含む)	· ·	
	前期計	62	
	5. 候別施術応用(日常遭遇しやすい症候への施術) 運動器系(続き) (5) 腱鞘炎 (6) 捻挫の後遺症 (7) スポーツ障害に対する総合施術	30	
授業計画	① アキレス腱断裂 ② ジャンパー膝 ③ テニス肘	4.0	
	6. 各疾患に対する特殊鍼法   (1) 頸肩腕部疾患	12	
	【   / 項		
	(2) 坐骨神経痛		
	坐骨神経節刺鍼	12	
	7. はり、灸施術に応用できる物理療法   (1) 温熱療法		
	(1)		
	(3)電気療法		
	(4) 灸頭鍼		
	(5) その他	2	
	0. 快級職が失音   臨床前試験等により患者に対して施術を行うに足りる総合的知識及び基本的技		
	能·態度を備えていることが確認できた場合、2月中·下旬を目処に模擬臨床実習を	6	
	実施する。		
	※ 後期中間期・期末試験(講評、臨床実習前試験を含む)		
	後期計	62	
	年度末計	124	
	   無		
実務経験の有無 その活かし方			
しいたがし刀			
成績評価の方法	│ 前期末、後期末に各々1回、2時間ずつ計2回行い、理療教育実施細則に基づき学年 │して成績評価とする。なお、中間期試験は形成的評価として実施する。	<b>末評価を算出</b>	

_	
履修上の留意点	1. 実技技能を身につける科目のため、健康管理は普段から心掛けましょう。 2. 普段から身だしなみを整え、白衣等の清潔保持を心掛けましょう。 3. 実習中は、鍼刺し事故等の過誤が生じないように、充分留意してください。 4. 実習中は、教官の指示以外のことは行わないで下さい。 5. 年間を通して、応用的施術法だけでなく、臨床実習に向けた一連の流れを身につけることを心掛けましょう。 6. 各学期の中間期、期末試験を臨床実習前施術実技試験として、合わせて8時間実施します。 7. 臨床実習参加に著しい課題があると実技担当者が判断した場合、必要に応じて他の理療科教官も評価に加わることがあります。
予習·復習の 進め方	1. この実習には、解剖学、臨床医学総論、理療臨床医学各論、経絡経穴概論の内容も含まれるため、事前に関連科目の内容を確認して下さい。特に診察に関連する解剖学的構造や疾患の概念、症状、徒手検査法の目的及び手順、経穴の取穴法について、予習をして実習に臨んで下さい。 2. この実技科目は繰り返し練習することが大切です。授業時間外に少なくとも週2回、各1時間程度のトレーニングをすることが望ましいです。その際は授業中に説明した注意事項を必ず守って下さい。
使用教科書	理療基礎実習第2版(上)(中)(下) 東京都立文京盲学校理療科研究会著
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。

		745年及及末川四首(ノノハス)	
課程 あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程			
学年		2年A組	
科目名		はりきゅう応用実習Ⅱ(臨床実習前試験等を含む)	
単位数		2単位	
授業方法と時間			
担当教官名			
授業の内容 (授業科目の概要)		主要な内科的症状・疾患に対するはりきゅう施術に関する知識と技能す。あわせて、臨床実習参加に必要な知識及び技術並びに態度につ実習前試験を行います。	
		1. 主要な症状・疾患に対して基本的身体診察が行える。 2. 主要な症状・疾患に対して適切かつ効果的にはりきゅう施術を行っ 3. 臨床実習に参加できる知識と技術や態度を身につけている。	える。
	前期内		
	1. オリ	エンテーション	1
	2. 基础	<b>睦的刺鍼手技</b>	9
	(1)リ	スク管理	
	(2)束	引入深度-刺入角度	
	(3)智	管鍼法と撚鍼法	
		見行十七手技	
		株な鍼 低周波鍼通電療法	10
		要症状·疾患別治療法	
	(1)吗	1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	2
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2
		<b>第血圧症</b>	2
			6
	71( 11/1/4)		32
		————————————————————————————————————	
▮ 授業計画	// HE -	前期計	
技未前回	後期内		
		胃炎(悪心嘔吐) 	2
		更秘と下痢 	2 2 2 2
		月経異常 年期障害(のぼせと冷え)	2
	(8)頭	<sup>痈</sup> 経痛(顔面痛)	4
		程備(関ロ角) 長保持・増進のための施術	2
		R 体 19 - 塩 にのための心を削 圣学的検査	5
		ェナロでは、直 R部反射	3
		5的反射	
		印度検査	
		#2015日 経臨床(前トレーニングを含む)	5
		中間、期末評価(臨床実習前試験等を含む)	6
		後期計	32
		₩ WIHI	
			64
中级经验企士与	無		
実務経験の有無 その活かし方			
「COVID NO CO			
成績評価の方法	と合わ 均点を	段業時は観察記録法により平常評価します。各学期末には実技試験を せて総括的評価とします。なお、理療教育実施細則に基づき、前期・ 注本科目の学年末評価とします。臨床実習前施術実技試験については の中間期及び期末期の実技試験の平均点で評価し、臨床実習参加の	後期末評価の平 に、平常評価と各

履修上の留意点	自身の健康管理に留意するとともに、身体や白衣を清潔に保ちましょう。 鍼刺し・火傷等の過誤を起こさないように、集中して慎重に練習しましょう。 各学期の中間期・期末試験を、臨床実習前試験として8時間実施します。 実技試験では担当教官に加えて他の教官も参加することがあります。
予習・復習の 進め方	予習は、教科書をよく読んでおいてください。復習は、事故や防災等に留意し、原則として実習室で行い、実習室以外では点火器具を使用しないこと。なお、授業時間以外の事故については自己責任になります。※「理療教育における施設や設備の利用等マニュアル(利用者向け)」第8章 授業時間以外に実技練習を行うときの注意事項参照
使用教科書	東京都立文京盲学校理療科研究会著理療基礎実習
参考書/参考資料	資料は必要に応じて配布します。